

令和5年3月28日

株式会社福田組

2022年度取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、「コーポレートガバナンス・コード（補充原則4-11③）」に基づき、取締役会の実効性を高め、より一層の機能向上を図ることを目的として、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施いたしましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

1. 分析・評価方法

（1）取締役および監査役を対象に無記名方式の自己評価アンケートを実施

＜アンケート項目＞

- （1）取締役会の構成と運営に関する事項
- （2）経営戦略、事業計画に関する事項
- （3）企業倫理とリスク管理に関する事項
- （4）業績のモニタリングに関する事項
- （5）機関投資家等との対話に関する事項

（2）ディスカッション形式でその分析および評価結果について当社取締役会の実効性に関する議論を実施

2. 分析・評価結果

（1）結論

アンケートの回答結果からは、全般的に概ね肯定的な評価が得られており、取締役会の実効性は確保されていることを確認しております。

（2）確認された主な課題

①取締役会の構成と運営に関する事項

経営監督機能の一層の強化のため、社外取締役の割合を高める必要がある。

②経営戦略・事業計画に関する事項

経営戦略や事業計画の議論においては、審議の量・質ともに更なる充実を図る必要がある。また、企業価値向上に向けたサステナビリティ課題に関する議論の深化が必要である。

③企業倫理・リスク管理に関する事項

中長期的なリスクへの対応に関する議論を拡充する必要がある。

④機関投資家等との対話に関する事項

I R活動等の充実や株主・投資家との対話状況のフィードバックについてタイムリーな情報共有を行うことが必要である。

3. 今後の取組み

当社は取締役会の実効性評価の結果を踏まえ、上記の課題について改善に努め、取締役

会の実効性を高めるとともにコーポレートガバナンス体制の更なる充実を目指してまいります。

以上